

北後志消防組合積丹支署

更なる技術向上へ日々訓練！ No.15

火災等の災害に備えて やすらぎで消防訓練

北後志消防組合積丹支署（仮谷支署長・署員17名）は、7月31日、「エイジングステーションやすらぎ」で消防訓練を行いました。



▲消火器訓練の様子

やすらぎでは、防災意識の向上や火災が発生した時の行動確

認を毎年行っています。訓練では、入居者とやすらぎ職員が避難訓練や通報訓練、消火訓練のほか、熱中症の予防講話を行いました。

講話では、今年は各地で気温が高く、熱中症での救急搬送のニュースもあり、熱中症の予防方法や熱中症になってしまった時の対処法などを入居者や職員に伝えました。

また、消火器を使用した模擬火災訓練も行い「119番通報の要領が理解できた。」や「消火器の取扱訓練はとても重要なことだと再認識できた。」との声が多く聞かれました。

積丹支署では、防災講習や消火器体験、救命講習などに職員派遣を行いますので、お気軽にお問合せください。

5名の団員に表彰

日頃の訓練の成果も披露

7月28日、仁木町で第24回北後志消防大会が開催され、永年消防団員として在職し、その功績が顕著な方に贈られる消防庁長官定例表彰「永年勤続功労章」に積丹消防団第4分団長の須田勝則さん（67歳・日司町）が、また、日本消防協会定例表彰「精績章」に同消防団副団長の富士谷哲朗さん（60歳・幌武意町）がそれぞれ受賞され、表彰状が伝達されました。

このほか、後志地方支部余市分会優良団員表彰として次の方々が表彰されました。

第1分団 団員 成田大介
第2分団 班長 加藤健一
第5分団 班長 齋藤博文

また、同大会では、表彰に先立ち、5消防団の部隊演習が行われ、炎天下の中、2種目で次の9人が、当町の消防団を代表して、日頃の訓練の成果を披露しました。

小型ポンプ操法
第3分団 小原勝文・杉野勝一（入 廻） 竹谷満洋・小原和也 竹谷雅一

放水競技
第1分団 中村総夫・八戸伸幸（美 国） 安田 満・池田和聡



▲小型ポンプ操法（第3分団）



▲放水競技（第1分団）

今年10月納入月分から 上下水道料金が上げられます！

上下水道事業特別会計の収支改善と、上下水道事業の安定的な運営を続けるため、

9月25日検針分(10月31日納入分)

から、「基準水量」の改定により、料金が変わります。

上下水道使用料金は、町民の皆さんの安全安心な水道水と下水処理の安定供給を支える大切な収入源です。町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【問合わせ先】役場建設課：TEL 44-3383

まちの日記帳



美しい海岸づくりに汗 「ゴミ持ち帰り運動」

7/30

8/8

海水浴客や観光客で賑わう町内の海岸線で「ゴミ持ち帰り運動」が行われ、北海道開発局小樽道路事務所や余市警察署、商工会、町職員などが参加してゴミ持ち帰りの啓発活動を行いました。

参加者は観光客一人ひとりに「ゴミ持ち帰りにご協力ください!」と啓発用のポケットティッシュを配布しながら呼びかけ、海岸の清掃活動を行いました。

海岸には漂着したゴミやポイ捨てされたゴミなどが散見されました。町が誇る美しい海岸線の景観が損なわれないよう、これからも啓発活動を続けていきます。ご協力を!



短冊に願いを込めて 保育所で七夕まつり

8/7

父母会が主催する七夕まつりがびくに保育所・みなと保育所・子育て支援センターで行われました。

園児たちが画用紙で作った七夕飾りには、「ケーキ屋さんになりたい」「おもちゃをいっぱい買ってもらいたい」など、思い思いの願い事が書かれた短冊が結ばれ、ヨーヨー釣り、輪投げなどの縁日やお化け屋敷に大はしゃぎする園児の姿が見られました。

祭りの最後には、恒例の花火大会も行われ、楽しい夏の思い出となりました。



◀ びくに保育所



▶ みなと保育所

晩夏の夜が賑やかに 婦美町で盆踊り

8/12

婦美町自治会（酒巻徹会長）が主催する「盆踊り」が婦美会館駐車場で行われ、やきとりやフライドポテト、かき氷などの出店のほか、抽選会なども行われ、会場は大いに盛り上がりました。

また、盆踊りでは、参加者がやぐらを囲みながら輪になって踊り、少しずつ秋めいていく季節を惜しみながら晩夏の催しを楽しみました。

